

令和元年度総合戦略事業の評価検証について

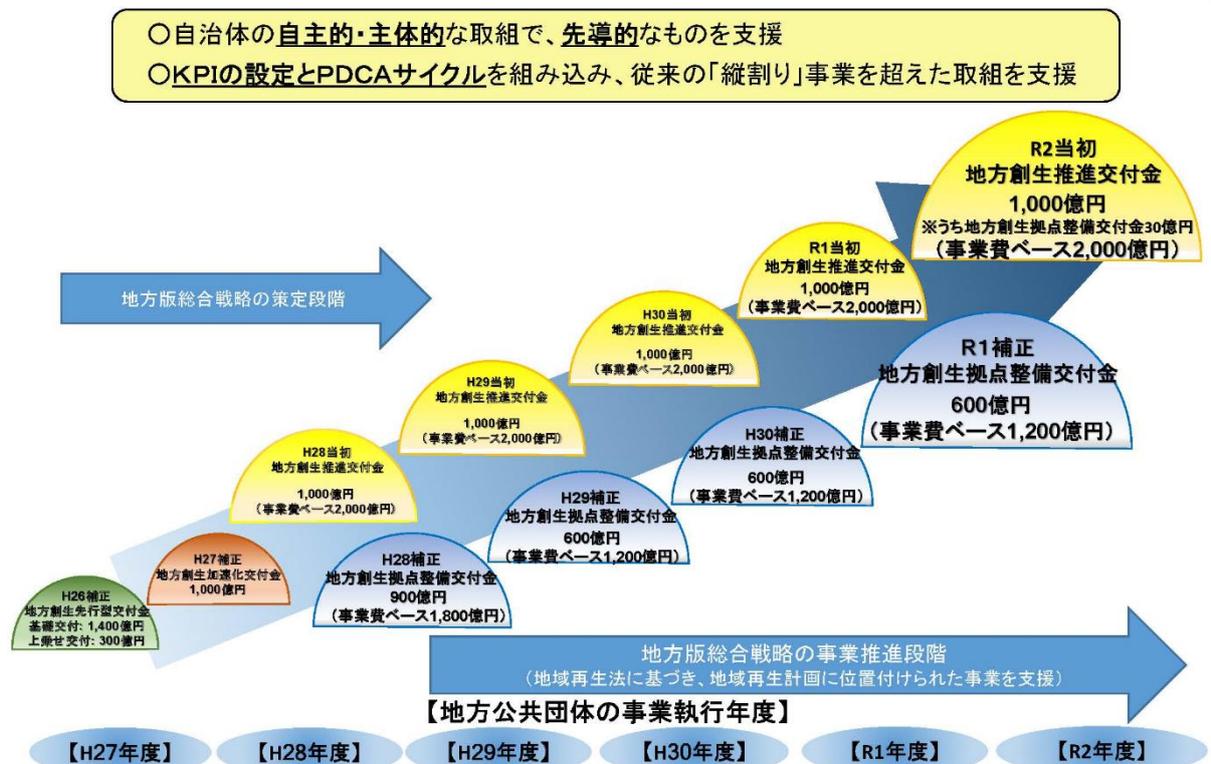
1 「人口ビジョン・総合戦略」について

加速的に進む人口減少、そして少子高齢化社会の到来は、大磯町にとって避けることができない大きな課題です。この直面する大きな課題を乗り越えるため、平成26年に制定された「まち・ひと・しごと創生法」に基づき、「新しい人の流れ」、「若い世代の結婚・出産・子育て」、「安定した雇用の創出」、「安全で安心な時代に合った地域づくり」など、国が示す地方創生の基本目標に合わせて、平成28年3月に「大磯町人口ビジョン・総合戦略」を策定しています。

地方創生に向けた取組みを効果的に実施していくため、総合戦略においては数値目標を設定し、実施した施策・事業の効果を検証し、その取組みを見直していくという一連のプロセスを実施することが求められています。こうした趣旨を踏まえ、「大磯町人口ビジョン・総合戦略」では、計画の推進のためにPDCAサイクルを導入し、施策の評価検証を行い、実施すべき施策及びKPI（Key Performance Indicators：重要業績評価指標）の見直し、それに伴う総合戦略の改訂等の必要な見直しを行いながら目標達成をめざすこととしています。評価検証においては、町内部だけでなく、外部の視点も取り入れ、評価検証の妥当性・客観性を高めるため、下記の点について総合計画審議会における評価検証を実施します。

- | | |
|---------------------------|-------------|
| ①大磯町人口ビジョン・総合戦略の評価検証（毎年度） | ⇒ 令和元年度評価実施 |
| ②地方創生関係交付金の評価検証（交付金活用後） | ⇒ 該当なし |

地方創生関係交付金の概要(イメージ)



総合計画審議会における評価検証の結果は、その内容を参考にし、それぞれの戦略及び交付金事業ごとに町としての今後の方向性を定め、施策に反映させます。評価検証の結果は、評価シートにとりまとめ、町議会へ報告するほか、ホームページなどを活用して町民に公表します。

2 大磯町人口ビジョン・総合戦略（令和元年度分）の評価検証について

（1）評価検証の方法

総合戦略の4つの戦略に位置付けた各事業の令和元年度の実施状況、数値目標及びKPI（重要業績評価指標）の達成状況等について、戦略ごとに評価シートに取りまとめています。総合計画審議会では、各事業の進捗状況の確認を行い、戦略ごとに5段階で評価します。

（※評価基準は人口ビジョン・総合戦略評価シート（資料2-2）の右下部を参照してください。）

事前に配布した資料2-2の内容を確認いただき、質問事項、意見等を事務局が回収



いただいた質問事項への回答、意見を取りまとめ当日資料として配布



配布した資料を基に会議当日は、委員間での意見交換



審議会評価の決定